

第24回衛星開発・実証小委員会 議事要旨

1. 日時

令和5年9月25日（月） 13:00～15:00

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室及びオンライン

3. 資料

資料1 宇宙技術戦略に関する考え方(衛星)(案)

参考資料1 宇宙政策を巡る最近の動向と宇宙技術戦略の進め方

(令和5年9月14日の第107回宇宙政策委員会・第34回基本政策部
会資料)

4. 議事要旨

(1) 宇宙技術戦略に関する考え方(衛星)(案)について

各委員からの意見は以下の通り。

- 宇宙技術戦略の考え方(衛星)(案)には今までの議論がよくまとまって記載されている。今後は宇宙基本計画に基づき、「民間事業者を主体とした商業化」が重要。
- 宇宙技術戦略に記載するものは重要技術のスクリーニングの考え方の中に技術的優位性の観点が入っており、企業・研究開発機関が、国際市場で勝ち残る意思と技術、事業モデルを有するという点が入っているが、特に重要。他方、技術的優位性獲得に至っていなくても、自律性の観点で我が国が保有すべき技術、萌芽的な技術についても官民協調で支援を検討していくことが必要。
- 産業界の意思だけでは戦略が描けないところ、自律性の観点で戦略を検討していくためには知見を持ったコミュニティの中で有識者と議論し、意見を貰うようなことが必要。
- 技術面では欧米と勝負できるが、量産ラインに乗せてビジネスとして勝負するところが難しい。宇宙技術戦略では、量産、ビジネス化を見越して最後の出口（アンカーテナンシー）としてのユーザを意識することが重要。
- 放射線設備は老朽化しており、国内で刷新していくことが必要。コンポーネントサプライチェーンと設備の自律性が重要。

以上